

## ご使用にあたって

下記をご理解いただいた上で、無償でご利用いただくことが可能です。

医療機器に関する教育や開発時のマーケティングツールに使用いただくことを目的としております。

プレゼンテーションや講演などでご使用いただく場合には、出典として「MDD Lab」の表示をお願いいたします。

データ自体の転売は許可しておりません。

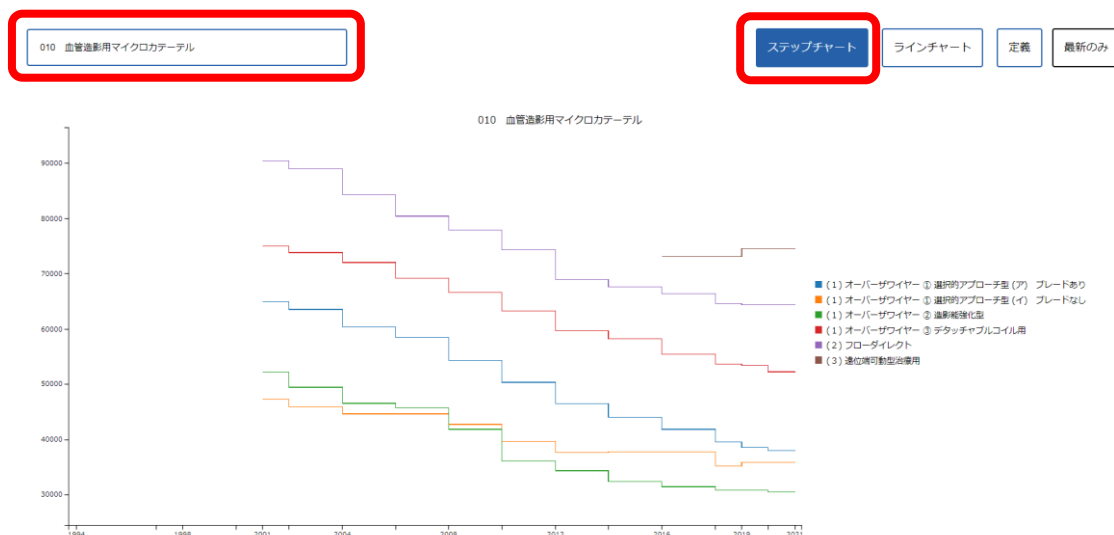
消費税改定などによる一時的な価格変更など、すべてを網羅しているわけではありません。削除された過去の分類も極力残していますが、名称の変更や属するカテゴリーの変更などについては、わかりやすさを優先し適宜割愛しています。

## ご利用方法

### ステップチャート

ステップチャート：

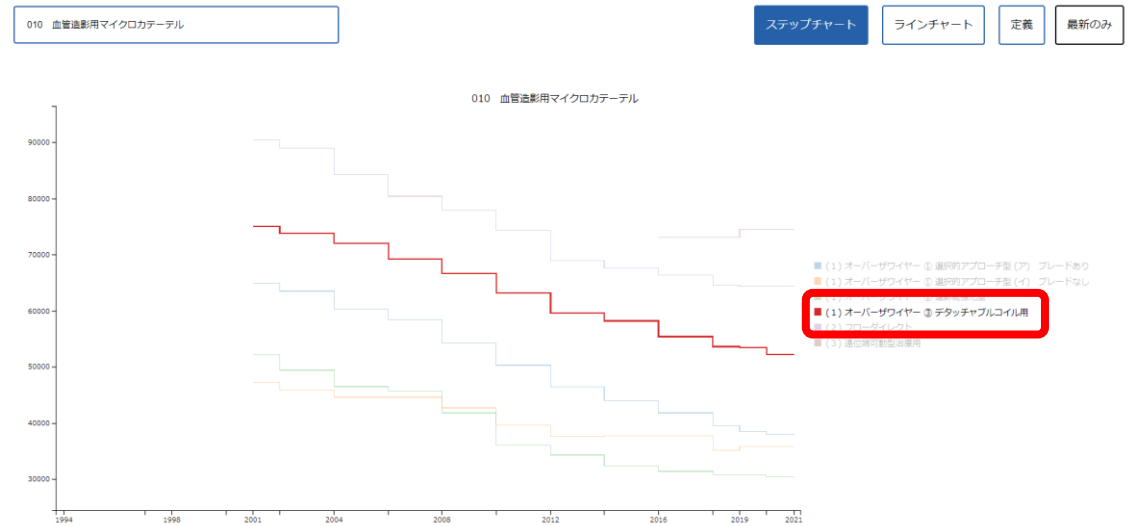
区分ごとに保険償還価格をそのまま反映しています。目的とする区分を選択すると、チャートが表示されます。ある年の保険償還価格を知りたい場合はこちらをお使いください。



チャート上にカーソルをあてると、その年において償還価格の高い順に機能区分と価格が表示されます。



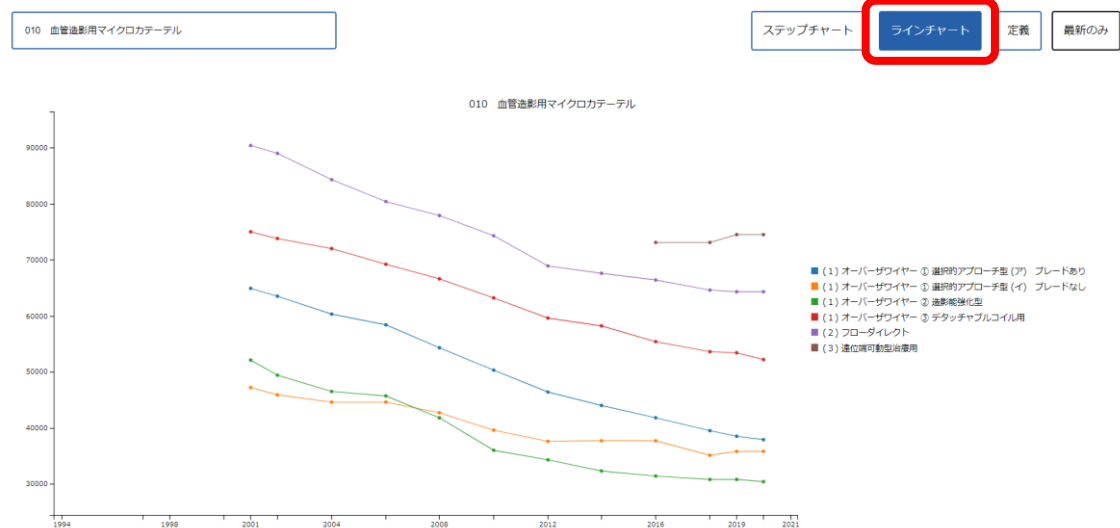
リファレンスにカーソルをあてるとその機能区分がスポット表示になります。



## ラインチャート

ラインチャート：

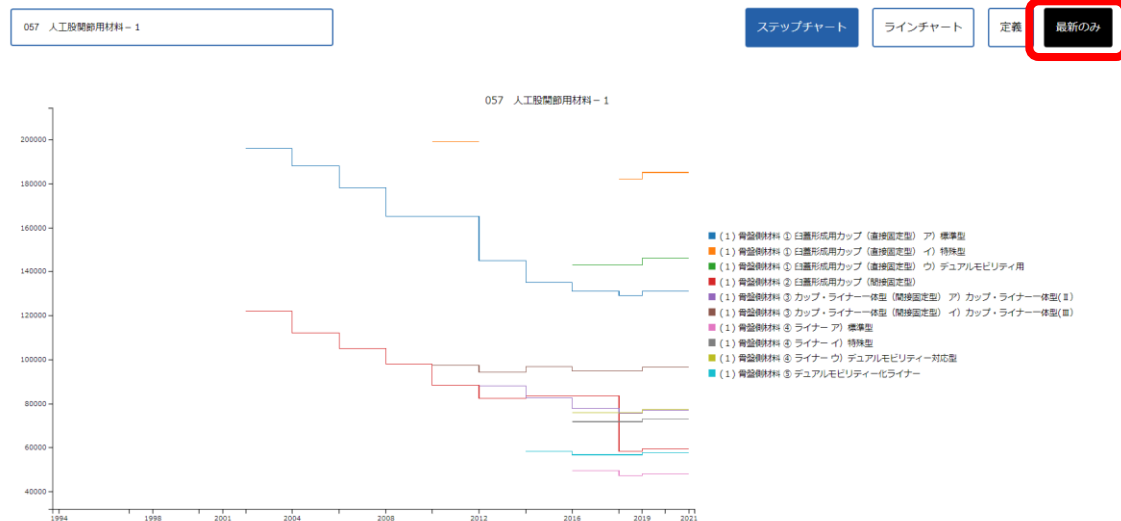
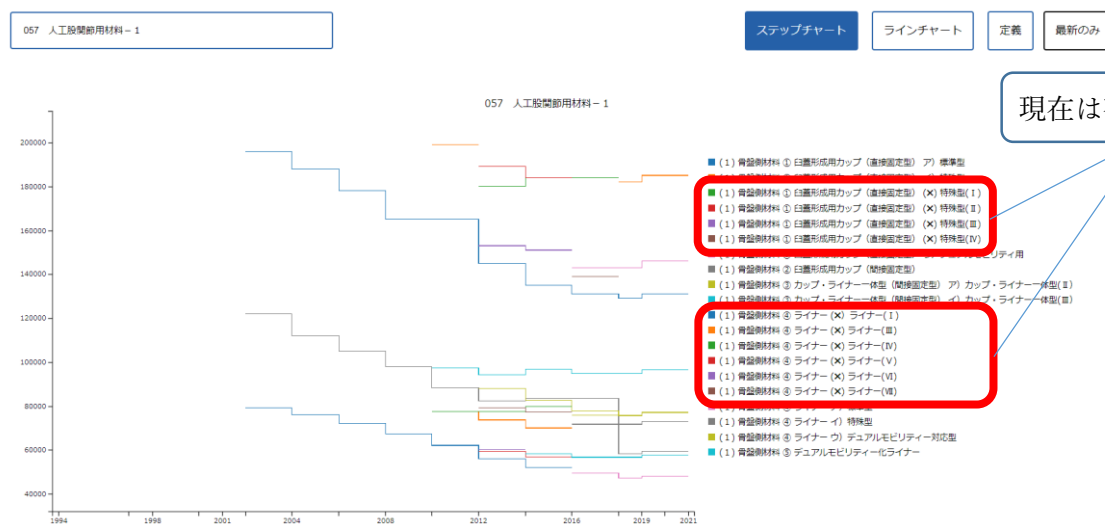
保険償還価格の変化の傾向（上がり下がりの傾き）がわかるよう折れ線表示にしています。  
実際の価格は、価格改定の年ごとに階段状に変化します（ステップチャート参照）。



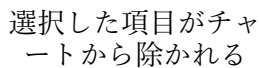
## 最新のみ

最新のみ：

リファレンスで(×)が表示されているものは、現在は存在しない項目になります。過去の変遷がわかるようデフォルトでは削除された項目も表示していますが、最新のみを選択すると、現在の項目のみが表示されます。



リファレンスの項目を選択することで、特定の項目のみをチャートから除外し、目的とする項目のみを比較することができます。



057 人工股関節用材料 - 1

057 人工股関節用材料 - 1

(1) 骨陰部材料 ① 白濁形成用カップ (直接固定型) ア) 標準型  
 (1) 骨陰部材料 ① 白濁形成用カップ (直接固定型) イ) 特殊型  
 (1) 骨陰部材料 ① 白濁形成用カップ (直接固定型) (X) 特殊型(1)  
 (1) 骨陰部材料 ① 白濁形成用カップ (直接固定型) (X) 特殊型(2)  
 (1) 骨陰部材料 ① 白濁形成用カップ (直接固定型) (X) 特殊型(3)  
 (1) 骨陰部材料 ① 白濁形成用カップ (直接固定型) (X) 特殊型(4)  
 (1) 骨陰部材料 ① 白濁形成用カップ (直接固定型) ウ) デュアルモビリティ用  
 (1) 骨陰部材料 ② 白濁形成用カップ (間接固定型)  
 (1) 骨陰部材料 ③ カップ・ライナー一体型 (間接固定型) ア) カップ・ライナー一体型(Ⅱ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ カップ・ライナー一体型 (間接固定型) イ) カップ・ライナー一体型(Ⅲ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー (X) ライナー(Ⅰ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー (X) ライナー(Ⅱ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー (X) ライナー(Ⅲ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー (X) ライナー(Ⅳ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー (X) ライナー(Ⅴ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー (X) ライナー(Ⅵ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー (X) ライナー(Ⅶ)  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー ア) 標準型  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー イ) 特殊型  
 (1) 骨陰部材料 ③ ライナー ウ) デュアルモビリティ対応型  
 (1) 骨陰部材料 ③ デュアルモビリティ化ライナー

## 定義

定義：

その区分の「定義」、「機能区分の考え方」、「機能区分の定義」の順に記載しています。

「定義」はその区分における薬事承認又は認証上の類別、一般的名称やその他求められる条件、「機能区分の考え方」では区分を細分類した機能区分をどのようにわけているか、「機能区分の定義」では、機能区分ごとの定義を記しています。

010 血管造影用マイクロカテーテル

ステップチャート

ラインチャート

定義

最新のみ

### 010 血管造影用マイクロカテーテル

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 定義       | <p>次のいずれにも該当すること。</p> <p>①薬事承認又は認証上、類別が「機械器具（51）医療用嚢管及び体液誘導管」であって、一般的名称が「血管造影用カテーテル」、「医薬品投与血管造影用カテーテル」、「ヘパリン使用医薬品投与血管造影用カテーテル」、「非中心循環系動脈マイクロフロー用カテーテル」、「中心循環系動脈マイクロフロー用カテーテル」、「血管造影キット」、「医薬品投与血管造影キット」、「非中心循環系血管内カテーテル」、「マイクロカテーテル」又は「中心循環系マイクロカテーテル」であること。</p> <p>②造影剤、薬液等の注入を目的に使用するカテーテルであること。</p> <p>③カテーテルの外径（シャフト径）が3.4Fr以下であり、カテーテルにマーカー又はボールチップが付いていること。</p> <p>④/リールを有しないこと。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 機能区分の考え方 | <p>構造及び使用目的により、オーバーザワイヤー（4区分）、フローダイレクト（1区分）及び遠位端可動型治療用（1区分）の合計6区分に区分する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 機能区分の定義  | <p>①オーバーザワイヤー</p> <p>ア選択的アプローチ型（ブレードあり）</p> <p>次のいずれにも該当すること。</p> <p>i カテーテルの最小外径（シャフト径）が2.5Fr以下であること。</p> <p>ii カテーテルの内径形状を維持するための構造（以下、「ブレード構造」という。）を有すること。</p> <p>iii 工、②及び③に該当しないこと。</p> <p>イ選択的アプローチ型（ブレードなし）</p> <p>次のいずれにも該当すること。</p> <p>i カテーテルの最小外径（シャフト径）が2.5Fr以下であること。</p> <p>ii ブレード構造を有しないこと。</p> <p>iii 工、②及び③に該当しないこと。</p> <p>つ造影能強化型</p> <p>次のいずれにも該当すること。</p> <p>i カテーテルの最小外径（シャフト径）が、2.6Fr以上3.2Fr以下であること。</p> <p>ii 工、②及び③に該当しないこと。</p> <p>エデタッチャブルコイル用</p> <p>次のいずれにも該当すること。</p> <p>i 塞栓用コイルによる塞栓術を実施する際に、塞栓用コイルを塞栓部位に到達させるために使用するカテーテルであること。</p> <p>ii カテーテル先端部のマーカーの他に、デタッチャブルコイル離脱部の位置を確認するためのマーカーを有すること。</p> <p>iii ②及び③に該当しないこと。</p> <p>②フローダイレクト</p> <p>血液の流れを利用して遠位部にある患部に到達するためのボールチップ構造を-18°有するもの又はカテーテル先端部が血流によって遠位部にある患部に到達することができる柔軟な構造となっていること。</p> <p>③遠位端可動型治療用</p> |